

## 愛知県環境審議会総合政策部会 会議録

### 1 日時

令和2年8月3日（月）午後3時～午後4時15分

### 2 場所

愛知県庁本庁舎6階 正庁

### 3 出席者

委員8名、専門委員4名、説明のために出席した職員10名

### 4 傍聴人

1名

### 5 会議録の署名

会議録の署名について、榊原部会長が浅川委員と松尾委員を指名した。

### 6 議事

#### (1) 審議事項

愛知県環境基本計画の改定について

資料1から4について、事務局から説明を受けた。

#### 【質疑応答・要旨】

(夏原委員)

詳しく記載されており、全体的には良い内容だと思うが、2点意見がある。1点目としては、SDGsの最初に書かれていることは「社会を変革する」ということであり、今年度の国の環境白書にも書かれている。この言葉は今までと違う、という印象がある。

2点目は、第5章の(1)各主体の役割であるが、基本計画全体を見ると、行政がやらなくていけないことは非常に明確にされており良いと思うが、市民一人一人は何をしたらいいのか。国の環境白書を見るとかなり具体的に書かれている。1年

限りの環境白書と長期間を見据えた基本計画とは違うと思うが、もう少し市民が何をすべきかいうことを記載した方がいいのではないか。

(事務局)

一人一人の取組は大変重要であり、一人一人に取り組んでいただきたいことについて、記載の充実を図っていききたい。SDGsの考え方についても、環境白書の記載内容も踏まえて、計画に反映させていききたい。

(山澤委員)

地球環境の危機感の記載は、かなり充実されており、良くなったと思うが、危機感を考える上では、世代間の公平さの確保がきわめて重要であると思う。地球温暖化が代表例だと思うが、その他の環境問題も含めて現在のつけを将来に残すことがないように、という視点を記載した方がいいのではないか。

第4章の地球温暖化対策について、施策の方向には「徹底した省エネルギーの促進」が最初に出てくるが、重点施策の「再生可能エネルギーの導入拡大と環境産業の振興」には省エネの記載が出てこない。省エネは本質的な役割になるため、記載してもらいたい。

第5章の各主体の役割について、文末が県民は「期待される」、事業者は「望まれる」、行政は「進める」等と書き分けられている。どういう考え方で書き分けているのか。また、「期待される」という文書ではどの程度のことを要求されているのか分かりにくいので、「求められる」といった文書にしてはどうか。さらに、県民の役割として省エネはかなり重要であるため、記載してはどうか。

(事務局)

世代間の公平さの観点は非常に大事だと思うので記載を充実していく。

また、省エネの観点は再生可能エネルギーと合わせて非常に重要であるため、記載の充実を図ることを検討する。

第5章の文末の表現は、県は自ら行うため「進める」とし、県民、事業者、NPOの部分は「期待される」「望まれる」という記載にしている。県の計画であるため、このような表現としているが、御意見を踏まえて表現を検討する。

(深澤専門委員)

第5章の各主体の役割の部分は、県の計画であるので、行政を最初を書く方がいいのではないか。愛知県環境基本条例においても、県の責務が最初に記載されている。

るのではないかと。

(事務局)

県民、事業者、NPOあつての行政ということから、この順番にしている。なお、第4次の環境基本計画や県の他の計画も同様の順番となっているものが多い。

(大石委員)

資料3の概要版は、今回説明のためのものか。それとも県民の方に説明するために使うものか。

(事務局)

資料3の概要版は、資料4のページ数が多いということもあり、委員の皆様に分かりやすくポイントをお示しできるように今回は作成している。なお、将来的には、県民の皆様にお見せできる概要版を作成することを考えている。

(大石委員)

今のままの言葉づかいでは分かりにくい部分があるから、気をつけて欲しい。

(永瀬委員)

新型コロナウイルス感染症については、環境面でプラスの影響もあるが、マイナスの影響もあるのではないかと。例えば、冷房しながら換気のため窓を全開する、医療系の使い捨てプラスチックの使用が増加する、といった環境面でのマイナスの影響もある。プラスの影響だけでなく、マイナスの影響についても記載した方がいいのではないかと。

(事務局)

新型コロナウイルス感染症について、環境面でのマイナスの影響がこれから増える可能性があるから、悪い影響についての記載も加えるようにしたい。

(橋本専門委員)

資料3の前回委員意見No. 5の「SDG s 推進フェアやウェブサイト等」の「等」は、何をさしているのか。小学校や幼稚園の子供達に対するSDG sの普及活動も行うのか。また、資料4の1ページの4つめの「・」で「…海洋に流出するプラスチックごみは、環境中で分解され自然に還ることが困難…」の「環境中」は「海水中」ではないのか。最後に第4章の自然との共生で、緑化運動について記載する

と、身近な感じで県民の人も取り組めるのではないかと。

(事務局)

「ウェブサイト等」の「等」は、SDGsに関する冊子の作成・配布等を想定している。また、「環境中」とは、海水中や海岸に漂着したものも含めて環境中と記載している。緑化の部分は、38ページにビオトープの創出や緑地の整備について記載しているが、御意見を踏まえて記載について検討したい。

(可知専門委員)

計画自体はすばらしいものになっていると思うが、もう少し計画を具体的にどう進めていくのか、について記載した方がいいのではないかと。また、現在、次期愛知県産業労働計画も作っている最中であり、私は次期愛知県産業労働計画策定委員会にも入っているが、県の中で横の連携、整合はとれているのか。

(事務局)

第5章1の(2)計画の推進体制については具体的に書けないかと、検討している段階であり、推進の中身についてしっかりと書いていきたい。また、現在、県ではあいちビジョンや産業労働計画、食と緑の基本計画など、策定中の計画が色々あり、随時、内容の整合や調整を図っているところである。今後も引き続き連携や調整を図りながら、環境基本計画の策定を進めていきたい。

(松尾委員)

計画自体は非常に充実したものになっていると思う。第5章1(2)計画の推進体制の部分に、国や国際社会との連携は入ってこないのか。また、行政の役割には、「本計画に基づく施策を総合的・計画的に推進する」と書いているが、行政の役割としては計画を推進するためのインフラの整備、制度的な整備、人的支援といったものが求められている。そういったことを具体的に書けないのか。

(事務局)

国との連携や県の役割については、記載をより充実させて次回の部会で示したい。

(浅川委員)

特に何か記載内容を変えた方がいいというものではないが、新型コロナウイルスについては、今までと考え方が大きく変わる可能性がある。環境にも非常に大きく影響してくるので、頭の片隅に置いておく必要がある。また、資料3の生物多様性

の主流化という言葉が分かりにくい気がした。

(事務局)

今後情勢が変わる可能性があるという点については、常に状況を把握しながら作成を進めていきたい。また、10年計画ではあるが、必要であれば見直すことも大事だと思うので、状況を見据えて対応していきたい。生物多様性の主流化については、用語解説等で分かりやすく示していきたい。

以上

愛知県環境審議会委員 浅川 晋 \_\_\_\_\_

愛知県環境審議会委員 松尾 直規 \_\_\_\_\_